

日 薬 業 発 第 3 2 6 号  
令 和 4 年 1 2 月 2 日

都道府県薬剤師会担当役員殿

日 本 薬 剤 師 会  
副 会 長 森 昌 平

## 医療用医薬品の供給情報に関する調査（協力依頼）

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

標記につきまして、神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 坂巻弘之教授より、別添のとおり協力依頼がありました。

同研究室では、令和4年度厚生労働行政推進調査事業費「医療用医薬品・医療機器等の供給情報を医療従事者等へ適切に提供するための情報システムの構築に向けた研究」として、医薬品供給情報に関して医療関係者、薬剤師の供給情報ニーズをwebアンケートにて実施することとしております。

医薬品の供給不足等が発生した場合、諸外国では、公的機関が医薬品の供給情報を一元的に把握し、医療関係者に提供する仕組みが構築されています。

本研究では、医薬品が供給不足に陥る可能性がある場合、あるいは実際に供給不足に陥った場合に、供給不足の状況を迅速かつ正確に把握できる情報提供サイト構築の検討と、情報提供サイトに求められる運用と仕様案の提示を目的としており、日本における医薬品の一元的な供給情報等のシステム構築において、今後、重要な検討材料となるため、本会は同事業に協力することとしております。

貴会におかれましては、業務ご多忙の折恐れ入りますが、別添を貴会会員にご周知いただき、積極的な回答を呼びかけていただきますようお願い申し上げます。

<別添>

医療用医薬品の供給情報に関する調査アンケート協力へのお願い

(神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 教授 坂巻弘之)

アンケート対象：保険薬局の管理薬剤師

回答期間：令和4年12月5日（月）～令和4年12月24日（土）

回答 URL：<https://www.yano.co.jp/qa/pharmacist2022/>

I D 番号：A384619



令和 4 年 12 月

保険薬局 管理薬剤師様

神奈川県立保健福祉大学  
大学院ヘルスイノベーション研究科  
教授 坂巻 弘之

## 医療用医薬品の供給情報に関する調査アンケート協力へのお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

早速ながら、弊研究室では、令和 4 年度厚生労働行政推進調査事業費「医療用医薬品・医療機器等の供給情報を医療従事者等へ適切に提供するための情報システムの構築に向けた研究」を実施しております。

医療用医薬品については、様々な要因により供給不足が発生し、医療の安定的な提供に支障を来す事案も多く発生しています。諸外国では、公的機関が医薬品の供給情報を一元的に把握し、医療関係者に提供する仕組みが構築されています。そこで本研究事業では、医薬品が供給不足に陥る可能性がある場合、あるいは実際に供給不足に陥った場合に、供給不足の状況を迅速かつ正確に把握できる情報提供サイト構築の検討と、情報提供サイトに求められる運用と仕様案の提示を目的とした調査を行うこととしています。

具体的には、医薬品供給情報に関して医療関係者、特に薬剤師の供給情報ニーズをアンケートにより調査したいと考えております。つきましては、保険薬局の管理薬剤師を対象にアンケート調査を実施させて頂きたく、ご協力賜りたくお願い申し上げます。

謹 白

### 記

1. アンケート目的： 保険薬局における医薬品供給情報に関する現在の問題点、今後の情報へのニーズ等の実態把握
2. 調査対象： 保険薬局の管理薬剤師
3. 調査方法： Web 調査(詳細につきましては、次ページをご覧ください)
4. 締 切： 令和 4 年 12 月 24 日(土)
5. 情報の取り扱い：  
アンケートは匿名での回答であり、医療機関名や回答者を特定することはありません。ご回答頂いたアンケートならびに入力データ、解析データ等は、個人情報保護法等関連法規に則り適正に保管します。なお、本調査に係るデータ入力・集計業務の一部を株式会社矢野経済研究所に委託しています。
6. 結果の取り扱い・公表：  
集計・解析結果は、概要を日本薬剤師会に報告するとともに、厚生労働行政推進調査事業報告書として、厚生労働省(国立保健医療科学院 Web システム)に提出します。また、研究論文として、関係学会あるいは、学術論文として発表することがあります。
7. 問合せ先：  
神奈川県立保健福祉大学 大学院ヘルスイノベーション研究科 教授 坂巻弘之  
Mail [hiroyuki.sakamaki@nifty.com](mailto:hiroyuki.sakamaki@nifty.com)

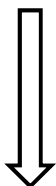
## 調査方法

- 管理薬剤師または代理の方 1 名が 1 回だけ回答して下さい。
- 本説明書のバーコードまたはURLにアクセスして頂き、アンケートに回答下さい。
- アンケートは、業務委託先の矢野経済研究所が保有するサーバー上に作成されています。
- 本アンケートで回答頂きました情報については、取り扱いに十分注意し、統計的に処理するとともに、本調査の目的以外に使用することはありません。
  
- **2022 年度上期(2022 年 4 月～2022 年 9 月)の供給不足状況(ジェネリック医薬品/ジェネリック医薬品以外別)の質問があります。**アンケート画面での入力に先立ち、供給不足回数をカウントしておいていただくと入力がスムーズに行えます(P4 の「アンケート設問一覧」をご参照下さい)。

## 回答手順

### STEP1

以下のアドレスを入力してアンケート画面にアクセスして下さい。

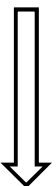


<https://www.yano.co.jp/qa/pharmacist2022/>



### STEP2

【ID 番号】を入力して下さい。

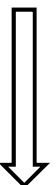


A384619

### STEP3

施設属性 6 問、供給情報に関する質問 11 問に回答して下さい。

次の質問に進むときは画面下の[次へ]をクリック、  
前の質問に戻るときは[戻る]をクリックして下さい。



### STEP4

Q11 の回答終了後、回答を修正する場合には画面下の[戻る]をクリックして修正する設問に戻って下さい。修正せず終了する場合には[送信する]をクリックして下さい。これで調査は終了です。

アンケートへの入力は今和 4 年 12 月 24 日(土)までをお願いします。

(今和 5 年 1 月 10 日まではアクセス可能です。)

## アンケート設問一覧

Q0. 施設属性（薬局の場合）

- ① 組織形態
- ② 同一法人による薬局店舗数
- ③ 薬剤師数（常勤換算）
- ④ 後発医薬品調剤体制加算の届出状況
- ⑤ 1 か月間の取扱い処方箋枚数（※令和4年9月1 か月間）
- ⑥ 備蓄医薬品数（医療用医薬品／後発医薬品）

Q1. 2022 年度上期（2022 年 4 月～2022 年 9 月）の供給不足状況

ジェネリック医薬品/ジェネリック医薬品以外（先発品・長期収載品）別

**【アンケート画面での入力に先立ち、供給不足回数をカウントしておいていただくと入力がスムーズに行えます。】**

- (1) 納入状況別：①発注したが納品されない／②発注したが通常より納品が遅れた／  
③発注数量通りの納品がなされなかった／④代替納品（同一成分で他社製品）が納品された／⑤新規の発注が断られた／⑥その他
- (2) 供給不足理由別：①販売中止（薬価削除）／②規格・包装単位での販売中止／③製品回収（リコール）／④上記以外の要因でのメーカー限定出荷／⑤原因不明での供給不足／⑥その他

Q2. 供給不足における情報入手

Q3. 供給不足情報における問題点

Q4. 供給情報が不十分であることによる問題

Q5. 供給情報として必要な項目

Q6. 供給不足理由として知りたい項目

Q7. 供給不足情報公開・更新として求めるタイミング

以降は、公的な供給情報サイトが構築された場合を想定した質問

Q8. 供給情報へのニーズ

Q9. 供給不足情報公開されることによる懸念点・問題点

Q10. 供給不足情報に求めるシステム機能

Q11. 公的情報サイトへの意見